

2014年11月27日
イオン株式会社
イオンアグリ創造株式会社

全国で18カ所目、福井県初のイオン直営農場 来春3/1(日)あわら市にイオンアグリ創造「福井あわら農場」オープン

11月27日(木)にあわら市と「農業参入に関する協定書」を締結します

都市近郊型農業や効率性の高い大規模農業のビジネスモデル確立を目指すイオンアグリ創造株式会社(以下、イオンアグリ創造)は来春2015年3月1日(日)、福井県で初となるイオン直営農場「福井あわら農場」をオープンします。当農場のオープンにより、イオンアグリ創造の直営農場は全国で18カ所、北陸エリアでは「石川かほく農場」と当農場の2カ所となります。

イオンアグリ創造はこれに先駆けて11月27日(木)、あわら市と「農業参入に関する協定書」を締結します。当協定の締結を契機に、20名程度の地域の方々を当農場に雇用しお迎えするほか、あわら市などが事業区域の花咲ふくい農業協同組合の選果場を利用させていただくなど、あわら市の農業の活性化に向け連携して取り組みます。

「福井あわら農場」は、肥沃な土壌に恵まれニンジンやキャベツなど様々な作物の栽培に適しています。また、北陸自動車道金津インターチェンジにも近く、イオンの物流センターや北陸・東海エリアのイオン店舗へのアクセスにも優れています。

来年の7月上旬よりニンジンの露地栽培を、2016年春からはキャベツやスイートコーンの露地栽培を開始する予定です。当農場で生産した野菜は、北陸・東海エリアの総合スーパー「イオン」、北陸エリアの食品スーパー「マックスバリュ」約50店舗でイオンのブランド「トップバリュ」の野菜として販売します。

イオンアグリ創造は、「福井あわら農場」のオープンを契機に、これまで以上に「安全・安心」かつ新鮮なおいしい農産物をお客さまにご提供するとともに、地域に密着した経営を推進してまいります。

【福井あわら農場の概要】

農場名称： イオンアグリ創造株式会社 福井あわら農場

所在地： 福井県あわら市山十楽1-5

生産者： イオンアグリ創造(株)農場長1名、農場担当1名、パート社員20名

農地面積： 約9.6ha

栽培品目：	露地栽培：ニンジン	2015年7月上旬作付⇒	10月下旬から収穫
	キャベツ	2016年4月上旬作付⇒	6月中旬から収穫
	スイートコーン	2016年4月上旬作付⇒	6月中旬から収穫

ご参考

【イオンアグリ創造株式会社について】

商 号：イオンアグリ創造株式会社
代 表 者：代表取締役社長 福永 庸明
本社所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬 1-5-1
設 立 日：2009年7月10日
主な事業内容：青果物の生産、加工、卸売、小売
決 算 期：2月末日
資 本 金：5,000万円
株 主：イオン株式会社100%

2009年7月に設立したイオンアグリ創造株式会社は、イオン直営農場の運営および農産物の生産委託に取り組むイオン株式会社の連結子会社です。地域密着経営というイオンの基本理念のもと、お客さまにご満足いただける農産物を生産・提供することや、持続可能な未来の農業に参画することを目指し、2009年9月に第1号農場を茨城県牛久市にオープンしました。キャベツ、白菜、小松菜など葉物野菜を中心に、イオンのブランド「トップバリュ」農産物の生産を行いイオングループへの供給を行っています。

また、イオン農場の野菜は収穫後、直接イオンの物流センターに入り店舗に配送するため、一般的な市場流通と比較して1～2日早く店頭に並び、お客さまにこれまで以上に新鮮な野菜をご提供することができます。

イオン直営農場は、このたびオープンする「福井あわら農場」を加え、北海道2カ所、東北エリアの岩手県、関東エリアの茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県で計7カ所のほか、甲信越エリアの山梨県2カ所、北陸エリアの石川県、近畿エリアの兵庫県、中国エリアの島根県、九州エリアの大分県2カ所で、合計18カ所となります。